

ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録 3 : 8

VOL.02-04 NO.013 2010年04月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール:nanbu-kyokai@nifty.com

URL:<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

「コソクリになろう」

橋本幸夫

「わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊があります。わたしはそれをも導かなければなりません」

(ヨハネ10:16)

クリスチャンには〈クリクリ、デモクリ、コソクリ〉があるそうです。なんのこと？と思うでしょう。

解説しましょう。クリクリはクリスマスだけ来るクリスチャン。でもクリスマスにも来ないクリスチャンもいますからクリクリはまだいい方かもしれません。

デモクリ、あれでもクリスチャンと言われる人です。これに啓発されて連想するクリもありますね。栗拾いみたいですけど。

ビックリ。エッあの人クリスチャンだったの。信じられない。なんて言われるクリスチャン。コックリ。説教が始まると同時に、条件反射でコックリコックリ舟を漕ぎ始める人。ソックリ。卒業クリスチャン。ぼくも若いときは教会へ行ってたヨ。なんて得意げになっている。ガックリ。戦いきれないですぐガックリして失望してしまうクリスチャン…などなど。

問題はコソクリです。あの人こそクリスチャンと言われるようなクリスチャン。

では、どんな人がコソクリなのでしょう。それは、イエス・キリストの心を心として生きる人のことです。では主の心とはなんでしょう。

ヨハネ10章の「わたしは良い牧者です」と自己紹介された中にあります。「わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊があります。わたしはそれをも導かなければなりません。」(16節)。

つまりコソクリとは、この囲いに属さない他の人を何とか導こうと祈り心砕いている人に他なりません。

囲いの中にヌクヌクしているだけなら主の心とシックリこないクリスチャンになってしまいます。

ともかく囲いに属している教会から出て行って、主の愛が支配する囲いに導き入れるために自分自身まず心を開き、囲いに属さない羊へと向かっていく。このようなコソクリの輩出こそ求められるところですね。皆さん大切なことですよ。

オッともう一つクリが出てきた！

何？ ヘソクリ！！ いや失礼しました。どうでもいい〈クリ〉ではなく〈コソクリ〉になろうではありませんか。